

6月度木曜例会（2017年6月1日）

今日は、3月のIINランチ交流にも奥さんと参加された Mr. Dag Ivar Thörnclöf (Sweden)をお迎えしました。イバルさんのお仕事は Technical translation で、あと1年半、大阪に滞在される予定です。経済学（専門は econometrics and environmental economics）の修士課程を修了され、趣味は読書、執筆、料理、ガーデニング等。若い時にはハンドボールをされていました。現在、実用日本語学習会で日本語を勉強しておられます。



Swedish Food: what we eat, and why we eat it



スウェーデンは日本と同様、細長い国。今、南部ではビーチで泳げるほど暖かいが、北部ではまだ雪が残っている。スウェーデンの国旗は、昔、戦いの前に王が青空に輝く十字架を見たという故事に由来している。国章にある3つの王冠は、3つの王国が統一してスウェーデンが建国されたことを表している。

面積は日本より少し大きい、人口は1,000万人弱で、東京都の人口より少ない。公用語はスウェーデン語の他に、少数言語のフィンランド語、サーミ語などもあり、ほとんど全ての人々が英語を話す。立憲君主制で、EUの加盟国であるが、通貨はスウェーデン・クローナ（1 SEK=約10円）。200年間平和が続いている国である。

首都ストックホルムからバルト海に出ると、フィンランドに至るまで約80,000の島があり、海上で島の見えない場所はほぼない。Swedish dreamは、このうちの1つの島で小さな家を持つことである。

自然豊かで、日本とは違って山はほとんどなく、火山の噴火や地震もない。また、危害を加えなければ、他人の敷地内でもテントを張ったり、木の実を採ったり、と自由に過ごせる。これを認めている法律は素晴らしいと思う。



ここで、スウェーデンの歴史を簡単に振り返ってみる。

Vikings (800 AD – 1066)…ヴァイキング時代と言うが、ヴァイキングとは海賊、略奪行為をする人々のことで侮蔑的な言葉である。北欧にはヴァイキングが住んでいたのではなく、Nordic（北方人種）が住んでいた。ヴァイキングは交易にも優れ、各国に広がり、定住していった。遠くはアイスランドやグリーンランドにまで行き、入植した人々もいた。

The Union of Kalmar (1397 – 1523) …カルマル同盟：スウェーデン、デンマーク、ノルウェー3国の王家が、当時の強国ドイツから身を守るため連合を結成。だが、後にスウェーデンは脱退。各国間の争いは絶えなかったが、やがてスウェーデンは帝国を築く。

Empire (1611 – 1718)…バルト帝国時代は、現在のスウェーデンよりかなり広い範囲を支配していた。現在ストックホルムの博物館に展示されている船は、当時世界最強と言われ、1950年代に海から引き上げられたもの。

Time of Freedom (1718 – 1772)…自由の時代。ロシアとの戦いに疲弊し、王権が弱体化した。それに伴って新しい考え方、民主主義が興った時代。科学技術が発達し、生物学のリンネやセルシウス（℃で有名）らが輩出した。

Peace (1815 – now)…ナポレオン戦争以降は、直接戦争に参加していないため、平和が訪れた。2つの世界大戦でも攻撃は受けず、金属の輸出等で稼いだ。工業化が進み、他のヨーロッパ諸国に追いついた。

ここからが今日の本番、スウェーデンの食についてです。

★Fika

スウェーデンでは、コーヒーを良く飲む。日本のお茶のようなもの。Fika とは、コーヒーとお菓子を意味し、家族や友達、同僚とお喋りすること。基本、スウェーデンの全ての企業で1日最低2回、fika がある。1回15分程度だが、色々な人と話す機会ができ、とても良い習慣だと思う。

★Midsummer

夏至の頃に祝う、一年で最も重要な日で、最もスウェーデンらしい日だと言える。草花で飾った大きなポールを立てて、輪になって踊る。定番の S.O.S 料理（バター、チーズ、ニシンを意味する。なぜそう呼ぶのかは知らない。）やポテト（ポテトはスウェーデンの主食）等を食べ、お酒を飲む。お酒を飲むと歌わないとダメ！だから、誰かがお酒を飲むたびに、皆で歌う。お酒はウォッカ等のアルコールにスパイスを加えたもの。外で夜遅くまで祝う。スウェーデンの夏は、暑くなく、雨もよく降る。日本の梅雨に似ていると思う。パーティのご馳走を外に出したかと思うと、雨が降ってきて慌てて中に入れ、止んだらまた外に出したり…。



酒はウォッカ等のアルコールにスパイスを加えたもの。外で夜遅くまで祝う。スウェーデンの夏は、暑くなく、雨もよく降る。日本の梅雨に似ていると思う。パーティのご馳走を外に出したかと思うと、雨が降ってきて慌てて中に入れ、止んだらまた外に出したり…。

★Harvest Celebrations



夏至祭と同様、外で皆で祝うが、南部ではザリガニを食べる【写真左】。北部では、世界一臭いと言われるシュールストレミング（塩漬けのニシンを発酵させたもの）を食べる。パンにポテト、サワークリーム、玉ねぎと共にはさんで食べると美味しいはず。私はまだ食べたことないが。【写真右】



★Christmas

クリスマスは家族と共に過ごす大事な時。春までの長い寒い時期を無事に過ごせるようにと、肉やハム、魚など、あらゆる料理が揃う。クリスマスにしか食べない料理もあり、豚の頭を置くこともある（私自身は、見たことがないが）。クッキーもスパイシー。様々な香辛料を

混ぜるので、**medicine** と呼んでいる。サフランブレッドは大好き。ワインも、香辛料やナッツ、レーズン等を加え、温かくする。寒い時に飲む温かいワインは心地よい。甘いので、日本のお屠蘇みたいだと思う。



テーブルの上には、デコレーションした豚の頭が！

クリスマスに欠かせないスパイシークッキー

サフランブレッドとワイン

★Ingredients and preservation

じゃがいもは主食で最も多く食される。栽培される作物は少ないが、食材は海や森からも取れる。森では木の実やキノコを採取する。木の実はジャムにして保存食に。肉料理にかけて食べたりする。

写真右は、英語で **swede** と呼ばれ、芋に似ているが、それ自体は美味しくなく、栄養も乏しい。だが、どんな土地でも育ち、保存しやすいので、よく使われる（料理すると美味しい）。

魚といえば、ニシン。酢漬け、塩漬けなどにして食べる。

ホースラディッシュは、スウェーデン料理で最もよく使う香辛料。



★Some examples of Swedish food



①豆スープとパンケーキ。私も海軍にいる時、毎週木曜日に食べていた。多くのレストランでも木曜日にこのスープを出す。



②家庭でのシンプルな食べ方。酢漬けのニシンにポテト、サワークリーム。



③ブラック・プディング。豚などの血から作られている。



④元々キリスト教の行事に由来する **Fat Tuesday** と呼ばれる日に食べる、アーモンドペーストの、ボリュームたっぷりのお菓子。

他にもスウェーデン料理は色々あり、日本でも、イケアのレストランで味わえる。

Q&A

Q: 北欧三国とは、スウェーデン、ノルウェー、デンマークだが、フィンランドは？

A: 北欧三国は、スカンジナビア半島周辺の国を指し、フィンランドは地理的にも、また民族、言語も違う。

Q:英語はいつ頃から学ぶ？

A:小学校3～4年（10歳前後）から習い始める。アメリカからも多く文化が入り、映画等、英語に触れる機会も多い。

Q:スウェーデンは強大な軍事力を持つが、抑止力として上手く機能している？長い間平和を維持してきた国として、日本に何かアドバイスを！

A:スウェーデンは常にロシアの脅威の下にあり、予算も多く使っている。今も18歳で通常兵役につく。訓練は厳しく、ゲリラ戦法も学ぶ。パイロットも優秀で、以前、空軍力は世界第2位で大きな抑止力となっていたが、ソ連崩壊後、軍備は縮小された。

日本へのアドバイスは難しいが、抑止力として軍隊を持つという考えはあってもよいと思う。スウェーデンは中立主義をとっており、NATOにも加盟していないが、国連の平和維持活動には多く参加している。

Q:2000年にデンマークと橋でつながったが、影響は？

A:スウェーデン南部の人が、コペンハーゲンに通勤できるようになったが、以前から両国の関係は良好であり、大きな変化はない。

Q:家で料理するのと外食では、どちらが好き？

A:料理をするのは好きだが、日本では台所が狭いし、スウェーデンにないものが沢山あり、スーパーで買ったり外食したりしている。

Q:麺類は食べる？

A:スパゲッティ、ラーメンなど食べる。ただ、スウェーデン固有の麺はない。

Q:国が軍隊を持つのは当然のこと？

A:現在の世界情勢ではYesだが、本来は持つべきではないと思う。

Q:スウェーデンは福祉国家で、理想的な国だと聞かすが、高い税金についてどう思う？

A:我々は国を信頼しており、皆が支払っている。小さな国なので、税金の使われ方も分かる。日本とは反対で、貯金をする代わりに税金を払っている。

Q:森深くに入るのは、道に迷ったり野生動物に遭遇したりして、危険では？

A:一般に危険ではないと思う。熊は、人が来ると逃げる。一番怖いのは、ヘラジカとの交通事故。イノシシも危険。私は森に入る時、地図とコンパスが必要だが、私の父は、何も持たずとも決して道に迷わない。

Q:フランス人の奥さんは、日本食は好き？

A:Yes. 私も好き。

Q:失業した時の保障は？

A:失業保険はあるが、期限がある。90年代の経済危機以降、支払期間は短くなった。

Q:年金制度や医療制度は？

A:同じく経済危機で資金不足になり、年金基金の一部を株式に投資するようになった。不安要素はあるが、今のところ上手くいっている。医療制度については、以前は高齢者のケアは国がするもので、各家庭が負担する必要がなかったが、最近では、家での方がより良いケアを受けられることが多い。ホームも不足しており、現在この問題は解決していない。